

YASUDA社員のこれが好き!

安田印刷で働く社員の「好きなもの」を
ジャンルは問わず約130文字で紹介してもらおうコーナー!
あなたと同じ【好き】をもつYASUDA社員が見つかるかも…?

好きなものは
ゴルフ



M.Iさん(営業部)

週2くらいで打ちっぱなしに行っています。

なかなか運動ができないなか都会でできるいい運動だと思います。ホールでまっすぐ遠くまで飛ばせたときは気分爽快です。

好きなものは
カメラ

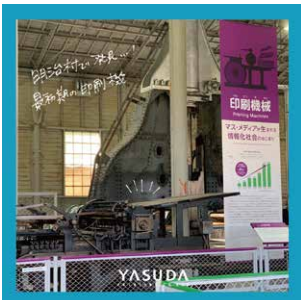
Y.Kさん(営業部)

高校時代(40年ほど前)から20代後半までカメラが趣味で、よく写真を撮っていたのですがでフィルムからデジタルに変わりデジカメの高級品も買えず、仕事も忙しくなり疎遠になっていたのが、最近やっとスマホを手に入れ、そこにカメラが付いているのに気づき写真を撮るようになりました。インスタにもアップして楽しんでいます。



安田印刷公式Instagramでご紹介したものをピックアップしてご紹介!

YASUDAGRAM PICK UP!



今回ピックアップするのは岐阜県犬山市にある明治村に展示してある歴史を感じる印刷機です! 大量生産が可能な機械が発明されたからこそ印刷物はメディアとしての力をつけて今につながっているのだと感じました。詳細についてはぜひ公式Instagramをご確認ください!



@yasuda_print

Instagram毎週更新中!
ぜひフォローをよろしくお願いします!

編集のつぶやき

■今だけ頑張っても……■

弊社では10月に例年よりは少し遅れて健康診断が行われました。私は基本検診だけだったのですが、去年はひとつ問題が見つかったので今年こそはオールAの健康体を目指して毎日健康的に過ごし……と行きたかったのですが思い出したのは健康診断の1ヶ月前でした……。結局いつもと変わらず過ごしてしまったのでまた同じところで引っかかるのでは…と結果に今からドキドキしています。

何事ですが、一夜漬け等は結局その場しのぎにしかならないので先を見据えて行動を決めていきたいなと感じました…。

寒暖差も激しく弊社でも体調に不安を感じる方が増える季節になりました皆様もご自愛ください。

(制作部・K)



★今月の表紙写真★

【無線綴じ機】

無線綴じ(背を針や糸を使用せず糊で接着し製本する綴じ方。中綴じより多くのページ数を綴じられる。)を行う機械。

お客様の思いを伝えることがYASUDAの使命です。

2020年 10月末日 発行
発行者: 安田智雄
発行所:
〒451-0043
名古屋市中区新道2丁目13番10号
安田印刷工業株式会社
TEL.052-533-0088



facebookも
ぜひ、ご覧ください。



【安田印刷で印刷できるもの】

名刺/チラシ/ポスター/冊子/カタログ/リーフレット/
POP UP/のぼり/懸垂幕/横断幕/パッケージ etc.

安田印刷工業株式会社

— yasuda monthly news 2020 —

MEI 11

GENS  = November =

vol.6



1-2...【YASUDA HOT NEWS】

言葉では伝えきれない想いを込めて/掃除は道具から

3...【印刷屋さんのちょっとコアな話】アナログの頃

4...【YASUDAの仲間紹介】M.Iさん & Y.Kさん

yasudagram pick up!

5...編集のつぶやき/表紙写真解説

【無線綴じ機】

YASUDA HOT NEWS!!

言葉では伝えきれない**想いを込めて**



今回は弊社で制作しましたクリアファイル型マスクケース&メッセージカードについてご紹介いたします。

この商品は愛知淑徳大学同窓会、桜楓会様の会合で配布させていただきました。通常のマスクケースと違い、クリアファイルのサイズです。

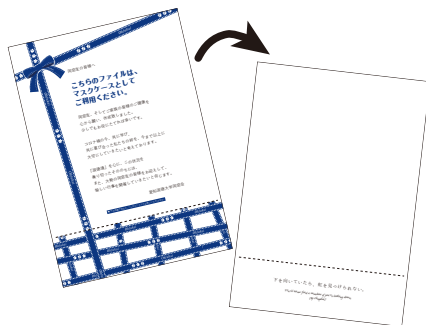
ので、大きめのマスクも入れやすく、マスクケースとして使わない場合でも通常のクリアファイルとしてお使いいただけるようになっています。

また、マスクケースと同デザインのメッセージカードを挟み込み、こちらのメッセージカードは点線部で切ることで、しおりとしてもお使いいただけるようにしました。ステイホームの続く情勢で、お使いいただけるのではないかと考えています。

「健康を願う」「共に乗り越える」という**気持ちを言葉だけでなくノベルティという形をとることで更に強く伝えられる**ことができたと感じております。

安田ではこれからも印刷するだけに留まらずデザインによる付加価値をご提供してまいります。

マスクケースやクリアファイルだけでなく、エコバック等その他ノベルティも承っております。ご興味ございましたら是非担当営業までご連絡ください。



掃除は道具から

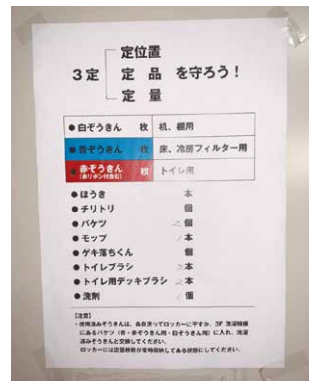
現在環境整備チームでは、働きやすい環境作りの掃除のための**掃除をしやすい環境作り**をしています。

取り入れた試みを2つご紹介致します。

1つ目は掃除用具『3定（定位置・低品・定量）』の徹底です。掃除用具を持ち出すことでどこかの階に偏ってしまい、掃除に取り掛かるまでに時間を要することがありましたが、これを防ぎいつでも一定の掃除環境を保つことができました。また、備品の管理にも役立ち、壊れているのにそのまま置いてあるというような状態がなくなりました。

2つ目は雑巾の色分けです。弊社では雑巾を用途別に3種類使っていたのですが、同じ白や茶の雑巾を使っていたことで机用の雑巾を床に使ってしまうような事故が多発していました。はじめは雑巾に直接「机用」と書くなどで対処していましたが、一見では判別がつかず、また使っていくごとに薄れてしまい上手くいきませんでした。今回色ごとに分けたことで洗濯や片付けもひと目で判断がつくためやりやすく、間違えることがなくなりました。

簡単な工夫でも掃除のしやすさがぐんと上がる事が分かったので、今後も工夫を重ね、環境づくりを推進してまいります。



印刷屋さんの ちょっと「コアな話

アナログの頃

デジタル化された昨今はデータ処理して面付けしたら数分後には刷版が出力、CTPプレートセッターで無現像版！そして印刷機にセットして機上で現像。そんな時代になりました。ありがたみさえ薄れてしまいごくごく当たり前に仕事をしていますが、アナログの時代昭和は何をやるにも人の手を介し、今の数倍の時間を要していました。

ですから翌日の印刷予定分は前日迄に版を焼くのが当たり前。もし印刷日当日になって変更などが発生すると再処理時間を待たされて印刷機が止まったままになってしまいました。営業、制作、製版部門と現場はカリカリしながら時計と睨めっこしていたものです。

アナログの頃はポジ又はネガのフィルムをプリンターと呼ばれる装置に版に真空密着させて露光します。

その後現像して濡れた版を乾燥装置に入れて乾かすのです。焼き付けも多面付けとなると垂直型のコンポーザーでその回数分、色数分行うので時間がかかります。

弊社の3階の東側がその頃の版処理室で今でも天井には排気装置や配線の跡が残っていて時々あの頃を懐かしく思います。

